

平均寿命・健康寿命要因分析結果について

1. 分析の方法

平成29年度に、滋賀県衛生科学センターが、滋賀大学とともに、全国47都道府県の統計データをもとに平均寿命、健康寿命と生活習慣、生活環境との関連を分析した。

併せて、「データ活用事業プロジェクト会議」(座長：立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター長 早川岳人氏)において分析の方法等について検討を行った。

2. 分析の結果

滋賀県では、健康な生活習慣をもっている人が多く、それを支える生活環境が整っていることに関連性があることがわかった。(別添資料1のとおり)

なお、分析結果については、平成30年5月29日に記者会見を行うとともに、県ホームページで公表した。

3. 今後の予定

○市町別分析の実施

平成30年度は、県内各市町について、1人当たりの医療費等の状況、食、運動、飲酒、たばこなどの生活習慣や産業、交通、教育、就労、ボランティア、保健衛生環境などの生活環境について情報収集やデータ分析を行い、市町ごとの健康格差に影響する要因を分析する。

分析にあたっては、平成29年度と同様に滋賀大学に委託するとともに、「データ活用事業プロジェクト会議」において分析の方法等について検討を行う。

○情報提供

「健康しが」コ・クリエーション事業の一環として設置する共創会議の参加者に対して情報提供し、新たな取組の創設につなげていく。(当該事業の進捗状況については別添資料2のとおり)

【参考】平均寿命・健康寿命の現状

○厚生労働省発表

区分			平成22年		平成27年		伸び幅	
			値(歳)	順位	値(歳)	順位	値(歳)	順位
平均寿命	男性	滋賀県	80.58	2	81.78	1	1.20	+1
		全国	79.59		80.77		1.18	
	女性	滋賀県	86.69	12	87.57	4	0.88	+8
		全国	86.35		87.01		0.66	

区分			平成25年		平成28年		伸び幅	
			値(歳)	順位	値(歳)	順位	値(歳)	順位
健康寿命 *介護保険による要 介護度による	男性	滋賀県	79.47	2	80.39	2	0.92	0
		全国	78.72		79.47		0.75	
	女性	滋賀県	84.03	3	84.44	3	0.41	0
		全国	83.37		83.84		0.47	

*介護保険の要介護度2～5を不健康な状態と定義し算出

区分			平成25年		平成28年		延び幅	
			値(歳)	順位	値(歳)	順位	値(歳)	順位
健康寿命 *国民生活基礎調査による	男性	滋賀県	70.95	31	72.30	16	1.35	+15
		全国	71.19		72.14		0.95	
	女性	滋賀県	73.75	39	74.07	42	0.32	△ 3
		全国	74.21		74.79		0.58	

*国民生活基礎調査の「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」の問いに対して「ある」と回答したものを不健康な状態と定義し算出

○東京大学発表

区分			平成2年		平成27年		延び幅	
			値(歳)	順位	値(歳)	順位	値(歳)	順位
平均寿命	男性	滋賀県	77.3	2	81.7	1	4.4	+1
		全国	75.9		79.9		4.0	
	女性	滋賀県	82.2	9	87.7	1	5.5	+8
		全国	81.8		86.3		4.5	
健康寿命(*)	男性	滋賀県	69.3	2	73.0	1	3.7	+1
		全国	68.2		71.5		3.3	
	女性	滋賀県	72.8	5	77.5	1	4.7	+4
		全国	72.4		76.3		3.9	

*主に平均寿命(生命表)と、障害生存年数を元に推定。障害生存年数に関しては、315種の疾患の有病率や、各々の疾患の重み(相対的な障害の重度)付けから算出されており、健康寿命は、平均寿命からこの障害生存年数を差し引いて算出

滋賀県の長寿のヒミツはこれだった!?

ヒミツは、健康な生活習慣をもっている人が多く、
それを支える生活環境が整っていることです



平均寿命
健康寿命

平均寿命 男性81.78歳(1位)、女性87.57歳(4位)*1
健康寿命 男性79.47歳(2位)、女性84.03歳(3位)*2

【主な病気の死亡率が低い】*3

性別	がん	心疾患	肺炎	脳血管疾患
男性	2位	21位	12位	1位
女性	14位	26位	10位	2位

平均寿命・健康寿命と生活習慣との関係の深さがわかりました

生活習慣

たばこを吸う人が少ない (男性1位)*4
多量飲酒(飲酒日に1日2合以上の飲酒量)をする人が少ない (男性4位、女性13位)*5
スポーツをする人が多い (男性2位、女性6位)*6
学習・自己啓発をする人が多い (男性5位、女性6位)*6
ボランティアをする人が多い (男性2位、女性4位)*6

滋賀県は、様々な項目がバランスよく全国上位です

生活習慣と生活環境との関係の深さがわかりました

生活環境

失業者が少ない(2位)*7
労働時間が短い(9位)*8
県民所得が高い(4位)*9
ジニ係数(所得格差)が小さい(2位)*10
図書館が多い(14位)*11
高齢単身者が少ない(1位)*12

【統計データの出典】

※カッコ内は、望ましい状況からの都道府県順位です。

*1 平成27年都道府県別生命表

*2 平成25年厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)による健康日本21(第二次)の推進に関する研究報告

*3 平成27年都道府県別年齢調整死亡率の概況 *4 平成28年国民健康・栄養調査 *5 平成26年NDBオープンデータ

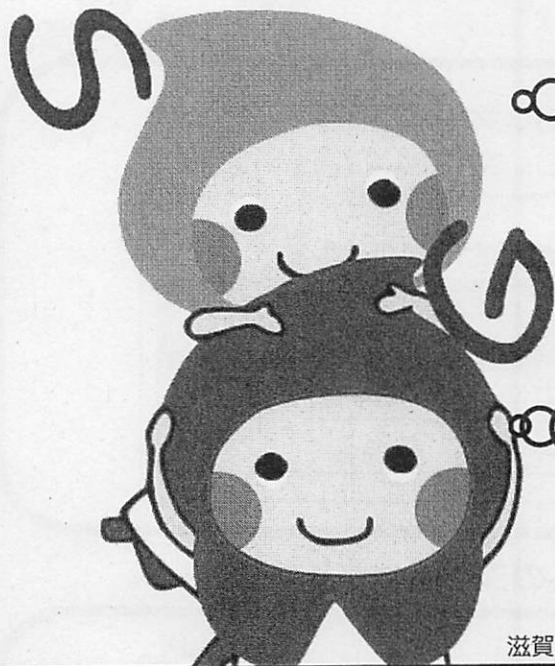
*6 平成28年社会生活基本調査 *7 平成22年国勢調査 *8 平成28年毎月勤労調査地方調査平均

*9 平成25年県民経済計算 *10 平成26年全国消費実態調査所得分布などに関する結果(2人以上の勤労世帯)

*11 平成23年社会教育調査 *12 平成27年国勢調査

県民のみなさん
へのメッセージ

「いつまでもその人らしく活躍し、
ともに支え合う社会」をめざして



運動やボランティア等で
生きがいと楽しさを
いっぱい感じて暮らそう

素敵な出会いと趣味で
健康いきいき

滋賀県健康づくりキャラクター しがのハグ&クミ

- バランスのとれた**食事**をし、適正な**体重**を維持しましょう
- **運動の習慣**を身につけましょう(1回30分以上の運動を週2回以上)
- **休養とストレス**の解消を心がけましょう
- 喫煙の健康への影響を知って、**禁煙、分煙**をしましょう
- **お酒**はほどほどにしましょう(缶ビールなら男性2本、女性1本まで)
- 定期的にからだと歯の**健診**を受けましょう

「健康しが」コ・クリエーション事業について

1 「健康しが」共創会議の開催

- 今年度、3回の開催を計画
- 現在、市町や企業・大学等への事業説明、参画勧誘を実施
- 今後、各参画団体から、それぞれの強み、連携希望内容等を記したエントリーシートを作成いただく予定。そのエントリーシートの内容を踏まえて、マッチングに活かしていく。
- 共創会議開催にあたっては、各回、テーマ・参加者を絞って、開催することを検討

2 「健康しが」県民意識調査

- 様々なライフステージの方に対して、健康に対する認識について個別面接による聞き取り調査を実施する。
- 滋賀医科大学と契約締結予定

3 「健康しが」情報発信事業

- 健康長寿県のイメージを広く発信し、県民のみなさんが健康について考える機会を提供することを目的として、ポータルサイトを構築して、情報発信に取り組む。

4 県民向け啓発イベントの開催

(1) キックオフイベント

開催日時 平成 30 年 (2018 年) 7 月 21 日 (土曜日) 10 時～17 時

開催場所 イオンモール草津 セントラルコート、レストランコート

セントラルコート : 「健康しが 日本一フェスタ」

ステージアピール・展示イベント

レストランコート : 「健康しが マルシェ」

企業・団体等によるブース出展、サンプリング・試飲・試食、展示、商談等の場。

(2) 今後の開催予定

- 平和堂・市町・団体との連携により、県内の平和堂店舗にて「健康しが」啓発パネル展の開催を検討
- 平和堂・ビバシティ彦根にて、「健康しがマルシェ」の開催を検討
「健康寿命延伸プロジェクト表彰式」を併せて開催予定
- イオンモール草津にて健康しがフォーラムの開催を検討